

スマホ・ネット安全教室

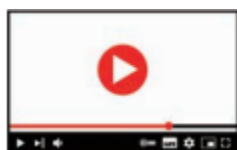
〔 ベーシック編 〕

先生向け補助教材

CONTENTS

- 03 ナレーション教材について
- 04 ナレーション教材の構成と手順
- 05 指導のポイント
- 07 参考資料のご案内

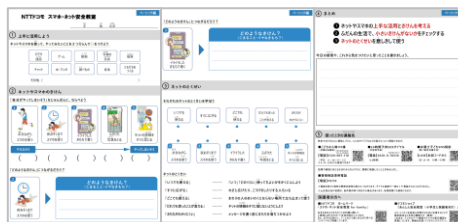
本教材の内容



ナレーション教材
(YouTube動画)



先生向け補助教材
(本テキスト)



ワークシート

アンケート回答のお願い



ナレーション教材と先生向け補助教材をご使用いただき
お気づきになった点をぜひアンケートにご記入ください。
YouTubeの概要欄からも回答が可能です。

ナレーション教材について

本教材の3つのポイント

スマホ・ネット安全教室の教材のポイントは以下の3点です。

◆ポイント① 「個々のトラブル対策」から「汎用的なリスクマネジメント能力」の育成へ

近年のネットやSNSのトラブルは多様化・複雑化しているため、これまでのように個々のトラブルにすべて対応することは難しいと考えています。そこで、さまざまなトラブルに共通して対応できる考え方としてスマホやネットに関する「リスクマネジメント能力」の育成をめざした内容となっています。

◆ポイント② 「リスクがあるか／ないか」から「リスクを見積もる」授業へ

本教材は、リスクマネジメント・プロセスの①リスクの発見(特定)、②リスクの見積もり(分析・評価)、③リスクへの対応(クライシス対応を含む)の中から「リスクの見積もり」を取り入れています。リスクの見積もりは、頻度と深刻度で考えることが重要です。そこで、5つのネットやスマホの使い方を見て、「自分がやっしまいそう(頻度)」な順に並べ、また、それぞれの「きけん」には大小がある(深刻度)ことを理解させるワークを行います。こうしたワークを通して、リスクを見積もる力を育てる内容となっています。また、児童がここで考える「きけん」を他者と共有することで、相互学習につなげています。

①リスクの発見
(特定)

②リスクの見積もり
(分析・評価)

③リスクへの対応
(クライシス対応を含む)

リスクマネジメント・プロセス

◆ポイント③ リスクを回避するための「適切な行動」を身につける

最後に、ネットやスマホの特徴を理解するとともに、リスクに対応するための「適切な行動」を伝え、リスクを回避する力を育てる内容になっています。

ナレーション教材の構成と手順

ナレーション教材の構成

ナレーション教材は、情報モラル教育を先生が実施する際にご活用いただける、スライドと音声が入った動画教材です。動画の構成をご確認いただき、ご使用ください。

チャプター	タイトル	時間
1	はじめに	0:00～
2	ネットやスマホを上手に活用しよう	1:14～
3	ネットとスマホのきけんについて考えてみよう	7:55～
4	①夜おそくまでスマホを使う	11:10～
5	②イライラしたきもちで書く	15:00～
6	小さいきけんと大きいきけん	18:28～
7	ネットの特性を学び、適切な行動を身につける	19:34～
8	まとめ	28:10～

ナレーション教材を使用した教室実施の手順

- ① 上記のナレーション教材の構成を確認してください。
- ② ワークシートを準備してください。
- ③ ナレーション教材を再生し、進行してください。
- ④ ワークシート記入の際は、ナレーション教材でタイマーを表示します。記入が終わったあと話し合いをさせる場合は、ナレーション教材を一時停止して、まわりの人と話し合いをさせます。話し合いが進んでいないグループに話し合いのポイントを伝えるなど、フォローをして進行してください。

授業の設定

〔実施対象〕 小学3年生～4年生 〔実施時間〕 45分

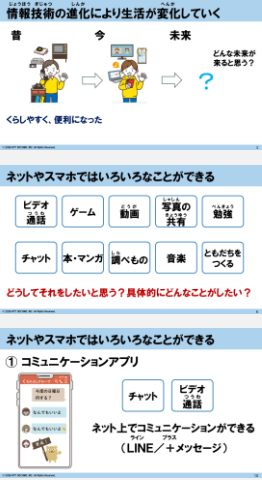

準備するもの

- ・ ナレーション教材を再生可能なインターネット環境
- ・ パソコン、プロジェクターとスクリーン または大型モニター
- ・ ワークシート 1人4ページ(【冒頭・まとめ】、ワークの1つめ、ワークの2つめ)
- ・ 先生向け補助教材(本資料)
- ・ 教材のダウンロードはこちらから ↓

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/csr/social/kodomo/educational/>



指導のポイント

ナレーション教材	動画の時間	指導のポイント
 <p>情報技術の進化により生活が変化していく</p> <p>昔 → 今 → 未来</p> <p>どんな未来が来ると思う？</p> <p>くらしやすく、便利になった</p> <p>ネットやスマホではいろいろなことができる</p> <p>ビデオ通話、ゲーム、動画、写真の共有、SNS投稿</p> <p>チャット、本・マンガ、調べもの、音楽、とちがいを調べる</p> <p>どうしてそれをしたと思う？具体的にどんなことがしたい？</p> <p>ネットやスマホではいろいろなことができる</p> <p>① コミュニケーションアプリ</p> <p>チャット、ビデオ通話</p> <p>ネット上でコミュニケーションができるアプリ (LINE/メッセージ)</p>	<p>(一時停止) 01:47～</p> <p>ワークシート記入 04:04～</p> <p>話し合い (一時停止) 05:12～</p>	<p>① ネットやスマホを上手に活用しよう</p> <p>昔→いま→未来で変わった情報技術についてイラストを見ながらイメージをしてもらいます。未来にはどんな技術があるかを考えさせる場合は、動画を一時停止してください。</p> <p>便利になった一方で危険も増えてきたことを伝え、教室のワークへつなげます。</p> <p>続いて、情報社会を前向きに考えてもらうために、ネットやスマホで「やってみたいこと」を考えます。まず個人でワークシートに記入させたあと(1分)、2-3人のグループを作って話し合い(2分)を行わせてください。</p> <p>「やってみたいこと」は2つ選ばせて、具体的にどんなことをやりたいのかも考えさせます。「その他」の欄も適宜活用してください。</p> <p>話し合いをさせる際は、動画を一時停止してください。スマホの使用頻度が低い参加者にも配慮して、代表的なサービスの説明を入れています。</p>
 <p>5つ「自分がやってしまいそう」な順番に並べよう</p> <p>1 歩きながらスマホを使う</p> <p>2 寝おそくまでスマホを使う</p> <p>3 イライラしたときもスマホを使う</p> <p>4 急ぎの用事を済ませるためにスマホを使う</p> <p>5 ネットの情報をすぐに信じる</p> <p>やらなそう → やってしまいそう</p>	<p>ワークシート記入 09:57～</p> <p>話し合い (一時停止) 11:05～</p>	<p>② きけんにつながる使い方を自分事化させるワーク (ワークシート記入:1分 話し合い:2分)</p> <p>本ワークでは、「きけんにつながる5つの使い方」について、「自分がやってしまいそう」な順番を考えて並べてもらいます。個人でワークシートに記入させたあと(1分)、2-3人のグループを作って話し合い(2分)を行わせてください。</p> <p>話し合いをさせる場合は、動画を一時停止してください。</p> <p>【ワンポイントアドバイス！】</p> <p>一部の子どもは「自分は全部しない！」と考えることもあるかもしれませんが、それでもこの中でやってしまいそうな順番で並べるようにしてください。順に並べることで自分にとって「やってしまいそうなきけんな使い方」に気づいてもらいます。ネットやスマホを持っていない子どもは、学校のタブレットの使い方などで想像するように先生からお声かけをお願いします。</p>

情報技術の上手な活用とリスクを考える

ナレーション教材	動画の時間	指導のポイント					
<p>「どのようなきけん」につながるだろう？</p>  <p>夜おそくまでスマホを使う</p> <p>「どのようなきけん」につながるだろう？</p> <p>②</p> <table border="1" data-bbox="142 507 406 652"> <tr> <td>きけん (小)</td> <td>きけん (大)</td> </tr> <tr> <td>朝起きるのがつらくなる</td> <td>朝はぼろぼろして学校にもくする</td> </tr> </table> <p>きけんには、小さいものと大きいものがある</p>	きけん (小)	きけん (大)	朝起きるのがつらくなる	朝はぼろぼろして学校にもくする	<p>ワークシート記入 12:24～</p> <p>話し合い (一時停止) 13:32～</p>	<p>④夜おそくまでスマホを使う (ワークシート記入:1分 話し合い:2分)</p> <p>本ワークでは「夜おそくまでスマホを使う」を例にその使い方が「どのようなきけん」につながるかを考えてもらいます。個人でワークシートに記入させたあと(1分)、2-3人のグループを作って話し合うか、クラス内で交流してみてください(2分程度)。話し合いをさせる場合は、動画を一時停止してください。</p> <p>[ワンポイントアドバイス!]</p> <p>グループワークやクラス内で意見を発表させる場合は、小さいきけんと大きいきけんがあることを意識して整理してください。</p>	
きけん (小)	きけん (大)						
朝起きるのがつらくなる	朝はぼろぼろして学校にもくする						
<p>「どのようなきけん」につながるだろう？</p>  <p>イライラしたきもちでともだちにメッセージを送ると、どうなるだろう？</p> <p>イライラしたきもちで書く</p> <p>「どのようなきけん」につながるだろう？</p> <p>③</p> <table border="1" data-bbox="142 973 406 1118"> <tr> <td>きけん (小)</td> <td>きけん (大)</td> </tr> <tr> <td>自分のきもちが相手に伝わらない</td> <td>けんかになる</td> </tr> </table> <p>きけんには、小さいものと大きいものがある</p>	きけん (小)	きけん (大)	自分のきもちが相手に伝わらない	けんかになる	<p>ワークシート記入 15:49～</p> <p>話し合い (一時停止) 16:57～</p>	<p>④イライラしたきもちで友だちにメッセージを送る (ワークシート記入:1分 話し合い:2分)</p> <p>続いて「イライラしたきもちで友だちにメッセージを送る」を例にその使い方が「どのようなきけん」につながるかを考えてもらいます。1つめと同様、個人でワークシートに記入させたあと(1分)、2-3人のグループを作って話し合うか、クラス内で交流してください(2分程度)。話し合いをさせる場合は、動画を一時停止してください。</p> <p>[ワンポイントアドバイス!]</p> <p>グループワークやクラス内で意見を発表させる場合は、④と同様、小さいきけんと大きいきけんがあることを意識して整理してください。</p>	
きけん (小)	きけん (大)						
自分のきもちが相手に伝わらない	けんかになる						
<p>小さいきけんが、大きいきけんにつながることもおぼえておこう</p>  <p>きけん (小) → きけん (大)</p>		<p>⑤小さいきけんと大きいきけん</p> <p>2つの「きけん」について考えたあと、「このくらい大丈夫」と思うような小さいきけんが、大きいきけんにつながることを伝え、小さいきけんにも目を向けることの大切さを考えてもらいます。</p>					
<p>それぞれのネットのとくせいを学ぼう</p> <table border="1" data-bbox="142 1512 406 1605"> <tr> <td>いつでも使える</td> <td>すぐに使えます</td> <td>どこでも使えます</td> <td>だれでも思ったことが言えます</td> <td>きもちがわかる</td> </tr> </table> <p>① 好きなからスマホを使う</p> <p>② 夜おそくまでスマホを使う</p> <p>③ イライラしたきもちで書く</p> <p>④ ぶざけた写真をとる</p> <p>⑤ ネットの情報をすぐに信じる</p> <p>ネットのとくせい だれでも思ったことが言える</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ●どんな人が言っているのかたしかめよう ●うそかもしれないから、ほかの情報と見比べて正しい考えよう 	いつでも使える	すぐに使えます	どこでも使えます	だれでも思ったことが言えます	きもちがわかる	<p>ワークシート記入 20:56～</p>	<p>⑥ネットの特性を学び、「適切な行動を身につける」 (ワークシート記入:1分)</p> <p>本ワークでは、それぞれの使い方とネットの特性を考えるワークです。複数の特性が「きけんにつながる使い方」にかかわっているものもありますが、基本的には最もかかわりが深いもの同士を1対1で結ぶようにしてください。ワークシートに記入したあと(1分)、答えを提示します。最後に、ナレーション教材でそれぞれのネットの特性にかかわる使い方のポイントを5つに分けて解説します。</p>
いつでも使える	すぐに使えます	どこでも使えます	だれでも思ったことが言えます	きもちがわかる			

参考資料のご案内

授業ではカバーできない、家庭でスマホルールを作るときにお使いいただけるツールとして、「スマホ・ネット安全教室 for family」をご用意しています。

ぜひ、保護者のみなさまにご紹介ください。



NTTドコモ スマホ・ネット安全教室 for familyはこちらからどうぞ